

白内障診療ガイドラインの引用文献の分析

阿部信一

東京慈恵会医科大学医学情報センター

背景と目的：国からの補助金を用いて作成されている診療ガイドラインは、平成 14 年度までで 20 疾患である。診療ガイドラインの作成には文献検索が行われるはずだが、公表されているそれらの多くにはそのような記載はない。さきの 20 疾患の中で白内障の診療ガイドラインは引用文献と検索過程の詳細が報告されている。本稿では診療ガイドライン作成のための効率的な文献検索方法について検証するために、白内障診療ガイドラインに引用された文献について分析する。

方法：文献検索過程が詳細に報告されている白内障診療ガイドラインの引用文献を分析する。

結果：白内障診療ガイドライン作成のための文献検索では、PubMed、The Cochrane Library、医学中央雑誌が用いられ、診療ガイドラインのエビデンスとして採用された文献は 319 件だった。その内訳は、海外の眼科分野の主要雑誌に掲載された最近のものが多く、他の診療ガイドラインに見られるような総合医学雑誌の文献や国内文献の引用が少ないことがわかった。また、引用文献に付与されたキーワード(MeSH、Publication Type)は、マクマスター方式で挙げられている通り、治療に関する質の高いエビデンスの多くには MeSH の"Comparative Study"や Publication Type の"Clinical Trial"、"Randomized Controlled Trial"などが付与され、病因に関しては MeSH の"Risk Factors"や"Risk"が付与されることが多いと思われる。

考察：診療ガイドラインの作成は、限られた期間内に大量の文献を調査し、検証することが必要であり、多大な労力を要する作業である。本研究の結果、研究デザインによる検索方法は白内障では有効であると思われたが、今後様々な対象について検証する必要性も示唆された。

MeSH/TI-AB/Publication Type	件	%
Comparative Study	96	69.6%
Clinical Trial	91	65.9%
Randomized Controlled Trial/PT	87	63.0%
Prospective Studies	69	50.0%
Follow-Up Studies	44	31.9%
Treatment Outcome	31	22.5%
Double-Blind Method	27	19.6%
Retrospective Studies	20	14.5%
Multicenter Studies	15	10.9%
Risk Factors + Risk	11	8.0%

表1 手術のエビデンスの MeSH または PT

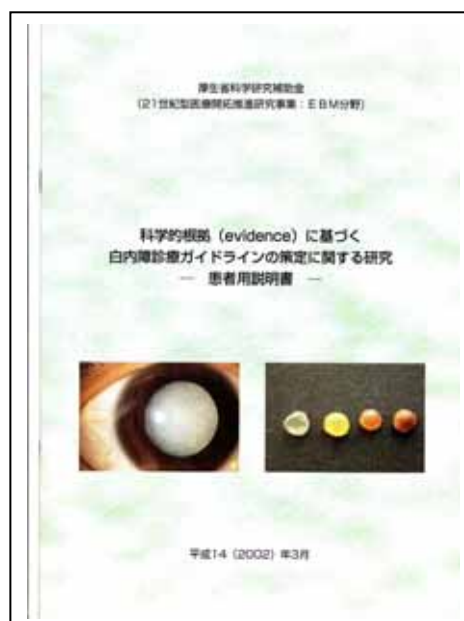


図1 白内障診療ガイドラインに関する報告書と患者用説明書